

プレス公表（運転保守状況）

発生日	2025年2月21日		
号機	6	件名	タービン建屋（管理区域）における油漏れについて（区分：Ⅲ）
【事象の発生】 ・ 2025年2月20日、午後0時27分頃、6号機タービン建屋 中地下2階給水ポンプタービン主油タンク（B）室において、潤滑油フィルター※1切替弁※2から潤滑油の漏えい（約4リットル）を確認いたしました。 ・ その後、午後0時37分に消防署へ連絡し、現場を確認していただいた結果、午後1時50分に危険物の漏えいと判断されました。 ・ 漏えいした潤滑油については拭き取りを実施し、現在も微少な漏えいが継続しているため、油を受けるためのオイルパンを設置し拡大防止措置を実施しております。 ・ なお、漏れた油に放射性物質は含まれておらず、外部への放射能の影響はありません。 ※1 タービン及びポンプの軸受へ綺麗な潤滑油を供給するために不純物を捕集するもの ※2 フィルターは2台あり、1台が不純物等により詰まりが発生した場合、残りの1台へ切り替えるための弁 ① (2025年2月21日にお知らせ済み) ・ 2月21日に開口部のフランジを復旧し、午後4時30分に潤滑油の漏えいが止まったことを確認いたしました。 (2025年3月13日にお知らせ済み) 【原因】 ・ <u>潤滑油フィルター切替弁フランジの開放時のリスク認識が足りず、フランジを開口状態のまま現場を離れた。</u> <u>そのため、配管内に残存していた油が配管を伝い、設置したオイルパンから外れて滴下した。</u> 【対策】 ・ <u>フランジ開放を行う作業の事前検討会において、現場を離れる際の措置についても検討を行う。</u> ・ <u>油が抜けきっていない状況で現場を離れる際は、開口部を塞いでから現場を離れるよう手順に追加した。</u>			

プレス公表（運転保守状況）

発生日	2025年3月10日		
号機	6	件名	非常用ディーゼル発電機（C）制御盤室での発煙について（区分：Ⅲ）
【事象の発生】 2025年3月10日、午前10時04分頃、原子炉建屋1階（非管理区域）で火報が発報し、当社社員が現場を確認したところ発煙を確認し、初期消火を実施。 公設消防により、午前11時45分に「非火災」と判断されました。 （2025年3月10日にお知らせ済み） 【原因】 - 変圧器に繋がる温度変換器を交換した際の、配線接続の誤りであることを確認した。 - 交換前に、当社、元請企業、施工会社の三社で配線変更があることを共有したものの、交換の際に、取外した箇所と別の箇所に接続する配線変更に対応したチェックシートがなく、従来から計器の点検で使用する、取外した配線を同一箇所に接続する計器点検用のチェックシートを使用していたため、配線接続を間違えたもの。 ② 【対策】 - 計器交換の際は、配線変更に対応した計器交換用のチェックシートを作成する。 - 具体的には、当社が設備図書に配線変更箇所を明記し、元請企業が配線変更が明記された設備図書を元に計器交換用チェックシートを作成する。作業員は、配線変更が明記された設備図書と計器交換用チェックシートを用いて計器交換を行う運用に変更する。 変更前 設備図書 点検用 チェック シート 三社で配線変更を共有 計器交換に対応したチェックシートなし 変更後 東京電力 設備図書 配線変更 明記 元請企業 交換用 チェック シート 作成 作業員 計器交換 設備図書 配線変更 交換用 チェック シート			

プレス公表（運転保守状況）

発生日	2025年4月10日		
号機	7	件名	非常用ディーゼル発電機（A）からの油漏れについて（区分：Ⅲ）
【事象の発生】 2025年4月9日、午後3時20分頃、原子炉建屋1階（非管理区域）において、当社社員が、非常用ディーゼル発電機（A）の定例試験を行っていたところ、停止操作前の機器状態確認時に、油の漏えい（約270cc）を確認いたしました。 - その後、午後3時30分頃に非常用ディーゼル発電機（A）を停止し、油の漏えいが止まったことを確認しています。 - 漏れ出た潤滑油については、拭き取りを行っており、外部等への流出はなく、環境への影響はありません。 - なお、油の漏えいがあったことから一般回線にて公設消防へ連絡しました。 （2025年4月10日にお知らせ済み） 【原因】 - Vリングが設計寸法よりも短かったことにより、Vリングの接着面に想定よりもゴムが縮む力が強く発生し、Vリングの接着が外れ、油漏れに至ったものと推定。 ③ Vリングは、主軸に隙間なく取付けるため、主軸よりも短い長さで切断し、Vリングの両端を伸ばしながら接着させる仕様である。施工手順書には、本来切断すべき寸法を記載していたが、切断者は手順書に記載されていた寸法を主軸の寸法と勘違いし、更に短く切断した。なお、切断する際の許容範囲の記載も無かった。 【対策】 - 施工手順書に本来切断すべき寸法と主軸の寸法を記載するとともに、Vリングを切断する際の許容範囲（±2mm）を明記する。 - 協力企業がVリング取付前にVリングの寸法計測を行い品質記録に記載し、当社は試運転前までに品質記録を確認する。			
事象概要 ゴムが縮む力が強く発生 接着外れ 主軸 ワイヤによりVリングを固定(ズレを防止) ゴムが縮む力 施工 両端を伸ばしながら接着 接着箇所（黄） 主軸 Vリング（黒） ワイヤ（紫） 切断 主軸の寸法(周長) 本来切断すべき寸法 Vリング 長尺で納入 主軸の寸法と勘違い 切断すべき寸法より25mm短く切断			

プレス公表（運転保守状況）

発生日	2025年5月29日		
号機	－	件名	大湊屋外エリアにおけるけが人の発生について（区分：Ⅲ）
【事象の発生】 ・ 2025年5月28日、午後9時00分頃、大湊屋外エリアにおいて、コンクリート打設用の型枠の解体作業中に、型枠を固定するパイプ（支保工※）を下から上に受け渡していたところ、パイプ（支保工）の一部（支柱）が外れ、下で受け渡しをしていた作業員の右耳裏側に当たり、負傷しました。 このため、午後9時16分頃に業務車にて医療機関へ搬送しました。 ※コンクリート打設の際に床や梁など型枠を所定の位置に支持するための仮設構造物 【対応状況】 ・ 病院で診察の結果、「割創(右耳介)」と診断されました。 今回の事例を踏まえ、発電所関係者に周知し注意喚起を行うとともに、再発防止に努めてまいります。 （2025年5月29日にお知らせ済み）			

④

プレス公表（運転保守状況）

発生日	2025年5月29日		
号機	－	件名	第二企業センター作業場におけるけが人の発生について（区分：Ⅲ）
【事象の発生】 ・ 2025年5月28日、午前10時30分頃、第二企業センター作業場において、協力企業作業員が、鋼材運搬作業中に右手中指を挟み、負傷しました。 このため、午前11時00分に業務車にて医療機関へ搬送しました。 【対応状況】 ・ 病院で診察の結果、「右手中指挫滅創」と診断されました。 今回の事例を踏まえ、発電所関係者に周知し注意喚起を行うとともに、再発防止に努めてまいります。 （2025年5月29日にお知らせ済み）			

⑤

【参考】プレス公表 継続対応件名リスト

号機	－	件名	モニタリングポストの一時的な測定データ表示不良について（区分：Ⅲ）	発生日	2025年1月27日
号機	－	件名	海水モニタ、モニタリングポスト等の一時的な測定データ表示不良について （区分：Ⅲ）	発生日	2025年2月28日
号機	－	件名	南66 kV建屋電源室（非管理区域）での火災の発生について（区分：Ⅰ）	発生日	2025年4月1日